

2017 年度 NGO-JICA 協議会 年間テーマ

※各回議題公募を行い、議題調整を行うスタイルは変更なし

「SDGs」をキーワードに国内外の事業などを有機的に繋げることを目的に以下の議題を中心に展開していく。

年間テーマ	対応枠組み/主担当	協議会での扱い	(2017 年度末までに)目指す状態/成果	メモ/その他備考
草の根技術協力事業の案件の質の向上と裾野拡大に向けて	NGO 側： ① 案件の質の向上（ピアレビュー）：SCJ 藤野 ② 裾野拡大：PIJ 馬野、（JVC 長谷部） JICA：国内事業部市民参加推進課	<p>– SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」を達成するために NGO-JICA 連携においても一層の連携強化を促進すべく草の根技術協力事業の案件の質の向上と裾野拡大について協議する。</p> <p>1. 案件の質の向上（ピアレビュー） 事例の成果、課題を共有（事後調査結果を含む）し、さらなる案件の質の向上を図るためにはどうすべきかを協議する。</p> <p>2. 裾野拡大に向けて 新規参画・小規模 NGO の事例や各国における NGO 活動環境の留意点等について、NGO、JICA 間で状況を共有し、理解促進を図ることで、草の根技術協力事業の裾野拡大を目指す。</p>	<p>1) 草の根技術協力事業の案件の質の向上のための工夫などが共有される。</p> <p>2) 新規参画団体・小規模団体による草の根技術協力事業のさらなる活用促進（裾野拡大）を目指し、NGO、JICA 間で方策の検討がなされる。(2017 年度 & beyond)</p> <p>3) NGO の活動環境や役割・目的が変化しているケースを共有し、この変化を踏まえ、NGO、JICA 双方が、草の根技術協力事業の案件形成・実施において、留意すべき事項を認識する。(2017 年度 & beyond)</p>	※3) については、NGO 研究会「日本の NGO による、アジア・アフリカ諸国における政府と現地 NGO の対話プロセス構築支援の方法に関する研究」のプロセス結果を共有・参照しながら協議を進める。
地方創生/地域活性化に向けた連携について	NGO 側： ① 多様なアクターの連携推進：HIF 池田 ② ネットワーク NGO：地域 NWNGO JICA：国内事業部市民参加推進課	<p>– 国際協力の経験を国内に活用し、地域活性化に貢献することを視野に入れた事業形成・実施を目指し、NGO やその他アクター経験を共有する。</p> <p>1. NGO と多様なアクターの連携推進 SDGs ゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」を踏まえ、NGO と多様なアクターとの連携促進、各アクターの強みを活かしたより良い事業形成・実施に向けての意見交換を実施する。</p> <p>2. ネットワーク NGO の活用促進を通じた地域における NGO、JICA の協働体制について NGO 団体から見たネットワーク NGO への期待・可能性等を踏まえ、意見交換を実施するとともに、ネットワーク NGO を核とした地域での NGO、JICA の協働体制を検討する。</p>	<p>1) 多様な連携の在り方を学ぶため、各アクターの強みを理解し、連携過程での課題やその解決方法が整理され、今後の連携促進の提案がなされる。</p> <p>2) ネットワーク NGO の活用促進のためのアクションプランが提案される。</p>	※第 2 回（地域開催）は北海道での開催を予定。

※昨年度の重点課題については適宜フォローアップを行い、要に応じて議題化を検討する

2017 年度 NGO-JICA 協議会 年間テーマ スケジュール

年間テーマ		第1回	第2回	第3回	第4回
草の根技術協力事業の案件の質の向上と裾野拡大に向けて	1. 案件の質の向上（ピアレビュー）	テーマ設定	○	◎	○
	2. 裾野拡大に向けて		◎	○	○
地方創生/地域活性化に向けた連携について	1. NGOと多様なアクターの連携推進		◎		
	2. ネットワークNGOの活用促進を通じた地域における NGO、JICAの協働体制について		※	◎	

※ネットワークNGOとJICAの意見交換会（2日目AM）において、第3回に向けた準備会合を行う